事業所名

鎌倉こども学園「チューリップ」

支援プログラム

作成日

2024年

4月

1日

法人（事業所）理念		私たちは、支援者であると同時に保護者と共に歩む子育てパートナーです。常に、お子様への支援スキルの向上と利用者に有益な情報を発信し続けることに邁進いたします。					
支援方針		非認知能力を育みます。非認知能力とは「粘り強さ」「自制心」「気概」といったIQ等からは測る事の出来ない「力」です。この力の成長に影響を与えるのは、お子様の意欲、保護者の期待、そして知識と情報です。私たちは、「生き抜く力」を育むために各分野の専門家がチームを組んで、お子様とご家族をサポート致します。					
営業時間		9時	0分から	13時	0分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容 （具体的な内容については別頁もご参照ください）					
本人支援	健康・生活	【ルーティンの獲得】時間概念を獲得し、決められた行動を遂行することによって目標へ到達するまでのプロセスを学びます。また、それらは、見通しのある生活を送ることで心の安定とお子様为主体となった自発的な生活が期待されます。 【身体への理解】清潔感への意識や身なりを整えることは、年を重ね自立や就労に必ず役に立ちます。また、自身の体調管理や精神面をコントロールしていくことも同様です。					
	運動・感覚	【原初的な運動と感覚】より多くの体験をすることによりお子様の新たな発見の妨げにならないよう、固定の価値観にとらわれずまずは挑戦してみることから始まります。やがては、高度なスポーツや絵画などに発展することは期待しますが、まずは、腕を伸ばす、走る、触ってみる、聞いてみるといった原初的な体験を積み重ねていきます。 【興味と自発性】多くの体験は、お子様の好奇心を育み、それは、お子様の探索へとつながります。					
	認知・行動	【個性の尊重】時間であたりルールへの理解など生活に必要な最低限の認知力の強化に努めます。他者と異なる認知があったとしてもそれを具に否定することしないよう、お子様の個性を最大限尊重できるように意識してまいります。 【認知と「行動」】認知と共に「行動面」を大切にしています。他者と異なる自己の発見と欲求のコントロール、他者を受容していくプロセスを学ぶことで社会の中での楽なポジションを見つけます。					
	言語コミュニケーション	【会話】時間軸の整理を最も大切にします。順序良く事象を並べることで、因果関係を把握できるようになり、また他者に伝わりやすい構文ができます。構造的な個別面接と同時に平素の生活での「楽しい会話」の中で話すこと、表現することの喜びを得られるよう配慮します。 【ノンバーバル】ことばを使うことが不得手なお子様でも、日常生活においてできる限り困らないような代替的なスキルを獲得できるよう支援いたします。					
	人間関係社会性	【社会集団での過ごし方】必ずしも全ての社会集団の中で活躍することを目標としません。時間を守る、他者の妨害をしない、周囲の様子を見るなど特定のルールを理解することで、自分の居場所を見つけます。 【距離感】自己、他者ともに不快になることのないような距離感を学びます。					
家族支援		保護者の皆さまが、安心して子育てができるよう常に子育ての価値観と方向性を確認します。定期的な保護者会（強制はありません）や、親子参加型行事などを開催し、療育の協働の実感をいただきます。		移行支援		ご家族の意見を中心に行政、教育機関、他事業所などと情報交換を大切にしています。必要に応じて各所を訪問し、お子様の様子を実際に見ることもあります。また、情報を整理しやすいように独自のアセスメントツールを用います。	
地域支援・地域連携		移行支援と同様、各所との情報交換を密に行っています。他にも、地域の方にご協力いただいて行事を催すこともあります。		職員の質の向上		社則には、規定数以上の社内外の研修へ参加することが義務付けられています。学びは、定期的な職員会議にて共有されます。	
主な行事等		防災訓練 警察署・消防署訪問 遠足 BBQ キャンプ 音楽会 クリスマス会 季節の行事 など					